

# 平成29年度予算の概要

---

平成29年（2017年）2月2日

札幌市

# 目次

|                          |           |                         |           |
|--------------------------|-----------|-------------------------|-----------|
| <b>I 予算の概要</b> . . . . . | <b>1</b>  | <b>III 財政運営の取組の進捗状況</b> | <b>68</b> |
| 予算編成の考え方                 | 1         | 中期財政フレーム2015            | 69        |
| 予算規模                     | 2         | 事務事業の見直し実施状況            | 70        |
| 平成29年度予算のポイント            | 3         | 使用料・手数料の改定項目            | 71        |
| 一般会計予算の概要                | 9         | <b>IV 資料</b> . . . . .  | <b>72</b> |
| 扶助費・建設費の推移               | 10        | 平成29年度各会計予算総括表          | 73        |
| 財政調整基金・市債の状況             | 11        | 一般会計款別内訳表               | 74        |
| <b>II 主な事業</b> . . . . . | <b>12</b> | 各会計主要事業の概要              | 75        |
| 政策分野1「暮らし・コミュニティ」        | 13        | 地方消費税交付金の増収分の用途について     | 93        |
| 政策分野2「産業・活力」             | 34        | 平成29年度完成予定施設            | 94        |
| 政策分野3「低炭素社会・エネルギー転換」     | 50        |                         |           |
| 政策分野4「戦略を支える都市空間」        | 56        |                         |           |
| 特別会計予算の概要                | 65        |                         |           |
| 企業会計予算の概要                | 66        |                         |           |

注1：この概要は、今後の整理により金額その他について変更することがあります。  
注2：この資料中の金額は、原則として各計数ごとの四捨五入で表示しています。  
したがって、文中及び各表中の数値とその内訳の累計値とは一致しない場合があります。

# I 予算の概要

## 予算編成の考え方

- 市長の任期の折り返しとなる予算であり、「誰もが安心して暮らし生涯現役として輝き続ける街」・「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」の実現に向け、着実に取組を進めるべく予算を編成
- 「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」（以下、「アクションプラン」）に掲げるまちづくりの取組や行財政運営の取組については、事業を軌道に乗せて将来への道筋をつけるため、計画に沿って着実に実施
- アクションプラン策定後の社会情勢等の変化を踏まえ、特に子育て支援や経済活性化などの分野について、アクションプランで想定していなかった取組についても、スピード感を持って予算化

# 予算規模

- 一般会計の平成29年度予算額は、県費負担教職員の権限移譲の影響により対前年度比6.4%増の9,965億円を計上
- 県費負担教職員の権限移譲の影響を除くと、扶助費の増等があったものの、国の経済対策に伴う平成28年度補正予算への前倒し計上などに伴う建設事業費の減などにより、実質的には対前年度比1.7%減の9,207億円
- 特別会計・企業会計を加えた全会計では、対前年度比3.3%増の1兆6,532億円を計上

## 各会計予算額

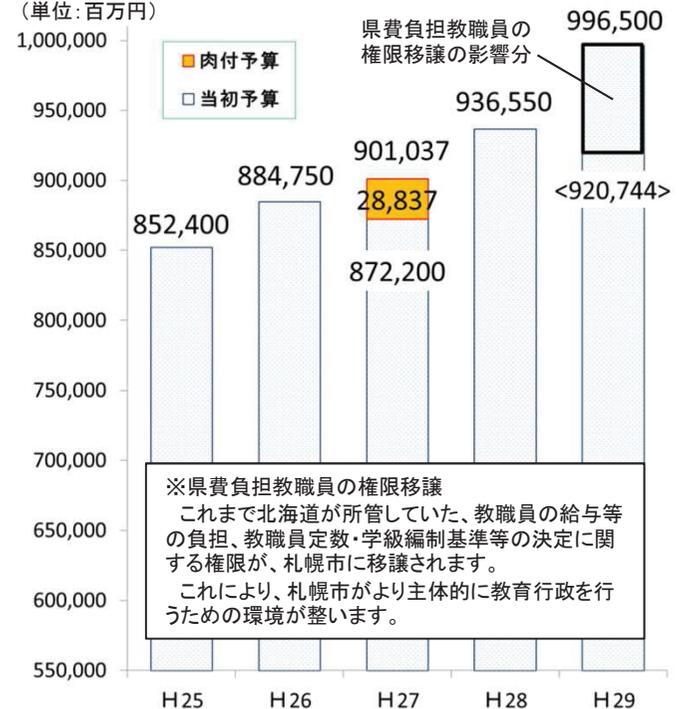
(単位:億円、%)

| 会計   | 29年度予算額            | 28年度予算額 | 比較増減          | 増減率           |
|------|--------------------|---------|---------------|---------------|
| 一般会計 | 9,965<br><9,207>   | 9,366   | 600<br><▲158> | 6.4<br><▲1.7> |
| 特別会計 | 3,977              | 3,895   | 83            | 2.1           |
| 企業会計 | 2,590              | 2,750   | ▲160          | ▲5.8          |
| 総計   | 16,532<br><15,775> | 16,011  | 522<br><▲236> | 3.3<br><▲1.5> |

※ <>内は、県費負担教職員の権限移譲の影響を除いた額

## 一般会計予算規模の推移

(単位:百万円)



# 平成29年度予算のポイント

子育て支援や経済活性化などの課題に着実に取り組む堅実予算

## まちづくりの取組を着実に実施！！

アクションプラン  
計画事業

### 子ども・子育て支援

- 3歳未満の第2子の保育料無償化を実施
- 仮称) 子ども貧困対策計画を策定(P.24)
- 幼稚園での一時預かりを拡大(P.84)

### 経済・雇用

- 本社機能移転をはじめとした企業立地等を促進(P.39)
- 高齢者の就業を支援(P.48)
- 食関連企業や外食産業の海外展開促進に向けた支援(P.85)

### 女性の活躍推進

■ワークライフバランスの促進、子育てママの再就職支援、女性が働きやすい建設現場等の環境改善の支援策などに取り組むとともに、...



- 女性の社会での活躍を推進するため、「仮称) さっぽろ女性応援会議」で新たな施策の展開を検討(P.46)

アクションプラン  
新たな取組

- 保育の受け皿整備をさらに加速(P.27)
- 児童相談所の体制強化や在宅での支援を充実(P.29)
- 不育症治療に対する助成を実施(P.19)

- 先進的な医学研究やICTなどの先端技術を活用した産業の創出と育成(P.35~38)
- 新たなMICE施設整備を検討するとともに誘致補助金を拡充(P.40)

今後の札幌の発展のため、女性はその希望に応じて活躍できるよう、社会全体で応援していくことが重要！

社会情勢等の変化を踏まえスピード感を持って予算化！！

## アクションプラン 政策分野1 暮らし・コミュニティ

子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進

### 取組内容

#### ■子育て支援の充実 (P.5参照)

☆○高まる保育ニーズに応えるため、保育の受け皿整備を充実(1,069人分) (P. 27)

☆○保育の質・量を支える保育士の処遇改善を支援 (P. 28)

○子育て世帯を経済面から支援するため、3歳未満の第2子の保育料無償化を実施

★●子どもを望む方の経済的負担を軽減するため、不育症治療に対する助成を実施 (P. 19)



#### ■困難な環境に置かれている子どもたちへの支援

・子どもの貧困対策を総合的に推進するため、(仮称) 子ども貧困対策計画を策定 (P. 24)

☆○児童虐待防止のため、児童相談所の体制強化や在宅での支援を充実 (P. 29)

#### ■誰もが安心して地域で生活するための環境づくり

☆○高齢の方の地域生活を支える担い手づくりを推進するコーディネーターや発達障がい支援に関わる機関への専門的支援を行うマネージャーを配置 (P. 15、18)

★●性的マイノリティに関する電話相談を実施 (P. 21)

★●結婚を望む若者を後押しするため、出会いの機会を創出 (P. 23)

★●地域における子どもの居場所づくり (多世代交流ができる子ども食堂など) の取組を支援 (P. 25)



#### ■スポーツを身近に感じられる環境整備

●子どもたちが様々なウィンタースポーツに触れられる機会を確保 (P. 33)

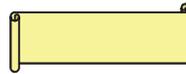
※ ★～アクションプランに見込まれていない新規事業

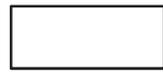
●～新規事業

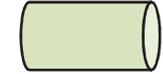
☆～アクションプランに見込まれていないレベルアップ事業

○～レベルアップ事業

# 平成29年度予算における保育施策の充実

 : 平成29年度予算による事業

 : 平成28年度補正予算による事業

 : 予算措置を伴わない取組

## 保育の受け皿拡大・多様な保育サービスの提供【3,279百万円】

### 私立保育所等整備補助関連 (2,424百万円) P.27

- 保育ニーズの増大への迅速な対応のため、アクションプランの整備予定(383人分)から686人分拡充(1,069人分)
- 整備手法の多様化により整備を促進
  - ・ 認定こども園・幼稚園からの移行に加え新設も対象
  - ・ 小規模保育・既存物件の改修に加え新築も対象

### 公立保育所等整備 (389百万円) P.26

- 厚別区の「区保育・子育て支援センター(ちあふる)」の整備に向けて設計・用地購入
- 幼児保育園2園の乳幼児併設園化に向けて設計

### 一時預かり事業 (458百万円) P.84

- 幼稚園一時預かりの実施対象施設を拡大(86→107園)
- 補助単価の引き上げ

### 休日保育の拡充【私立保育所等補助】 (8百万円) P.28

- 休日保育を実施する事業者に対し、国の基準額に追加する、保育士の処遇改善や障がい児受入に着目した新たな補助制度を創設

## 保育事業者の運営改善【2,858百万円】

### 防犯対策強化整備事業 補助(212百万円) P.83

- 保育所等の安全強化のため、防犯カメラの設置等の費用を補助

### ICT化推進による 業務負担減

- 保育士の業務負担軽減のため、システム導入費用等を補助

### 私立保育所等への市補助制度の 見直し【私立保育所等補助】 (2,646百万円) P.28

- 国の基準を上回る配置の保育士(加配保育士)の処遇改善に着目した補助制度へ見直し
- 加配保育士補助単価の引き上げ
- 加配保育士を正職員として雇用する場合の加算単価の引き上げと対象人数の拡大

## 子育ての希望をかなえる 「さっぼろ」の実現

## 子育て世帯の負担軽減【608百万円】

### 保育料無料化 (608百万円)

- 最も保育料の高い3歳未満の児童を対象に、第2子の保育料を無料化し、経済的負担を軽減

※金額は予算額ではなく影響額

### 兄弟入所の より一層の推進

- 兄弟が同じ園に通いやすくなるよう、入所調整時に配慮

## 保育人材の確保【1,716百万円】

### 施設運営費における保育士等の処遇改善 (1,696百万円)

- 私立保育所等の全ての職員を対象とした2%の処遇改善を実施
- 技能・経験を有する職員に対しては、キャリアに応じてさらなる処遇改善

※金額は、各施設に対する給付費等扶助費の内数

### 貸付事業による就労継続等支援

- 修学に要する費用等に対し、一定条件で返済不要となる貸付を行い、保育士の経済的負担を軽減

### 人材マッチングの強化【保育士 等支援】(20百万円) P.83

- 札幌市保育士・保育所支援センター(H28.10開設)により、潜在保育士の復職支援やマッチング等を促進

## アクションプラン 政策分野2 産業・活力

### 国内外の活力を取り込み足腰の強い経済基盤・雇用環境を整備

#### 取組内容

##### ■先端技術を活用した産業の創出・育成

- ★●市内大学の先進的な研究を活用した医療関連産業の集積を促進(P. 35)
- ★●ICT※1を活用するための体制を構築するとともに、AI※2やIoT※3などの先端技術の活用やチ・カ・ホにおけるICTインフラの整備を推進(P. 36～38)

##### ■誰もが輝き活躍するための雇用環境の整備

- ☆○本社機能移転をはじめとした企業立地等を促進し市内雇用を創出(P. 39)
- ★●高齢者の雇用促進に向け、企業セミナーや仕事体験会を開催するとともに、求人開拓等を実施(P. 47、48)
- ☆○高齢者の社会参加の促進に向け、シルバー人材センターの体制を強化(P. 49)



##### ■国内外からの人の流れを呼び込むための観光活性化

- ☆○MICE※4受入強化のため、新たなMICE施設整備を検討するほか、誘致補助金を拡充(P. 40)  
・札幌国際芸術祭2017を開催(P. 41)
- ☆○冬季オリンピック・パラリンピックの招致によりウインタースポーツ都市としての地位を高め海外からの観光客誘致を推進(P. 42)

※1 ICT: Information and Communication Technologyの略。情報や通信に関連する科学技術の総称。

※2 AI: Artificial Intelligenceの略。一般的に「人工知能」と訳され、人間が使う言語の理解や、経験からの学習等を行うソフトやシステムを指す。

※3 IoT: Internet of Thingsの略。一般的にあらゆるモノ(物体)がインターネットと接続していることにより、自動認識や、遠隔計測などを行うことを指す。

※4 MICE: 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。Meeting、Incentive Travel、Convention、Exhibitionの頭文字をとったもの。

# 平成29年度予算における産業振興施策の充実

## 産業振興ビジョン[改定版]に沿い、様々な角度から産業振興、観光振興、就労支援を展開

|      |  |  |
|------|--|--|
| 重点分野 | <b>観光</b><br>好調な観光需要をさらに拡大するため、観光資源の魅力アップや受入環境整備を実施<br>・ MICE関連事業 (167百万円) P.40<br>・ 観光統計調査事業 (27百万円) P.85   | <b>食</b><br>道産食品の観光客等による消費拡大や国内外への販路拡大<br>・ 外需獲得商材開発支援事業 (36百万円) P.85<br>・ 食品海外販路拡大支援事業 (42百万円) P.85         |
|      | <b>環境 (エネルギー)</b><br>企業の経営基盤の強化につながる省エネの推進、エネルギービジネスの促進<br>・ 札幌型省エネルギービジネス創出事業 (17百万円) P.84<br>・ 環境エネルギー技術開発支援 (48百万円) (新製品・新技術開発支援事業(P.84)の内数)  | <b>健康福祉 ・ 医療</b><br>市内に集積する研究シーズの実用化、産業集積の促進<br>・ 医療関連産業集積促進事業 (30百万円) P.35<br>・ 健康関連産業研究開発支援事業 (30百万円) P.85 |
|      | <b>IT クリエイティブ</b><br>市内IT企業独自の製品サービスの開発による新たな市場創出や、先端技術の積極的な活用による産業の活性化<br>・ 札幌市ICT活用戦略推進事業 (23百万円) P.36<br>・ IoT推進コンソーシアム事業 (46百万円) P.37<br>・ 地下空間におけるICT活用実証実験事業 (50百万円) P.38<br>・ 映画・音楽・IT複合イベント創出支援事業 (80百万円) P.85 |  |

|       |  |
|-------|--|
| 横断的戦略 | <b>中小・小規模企業への支援</b><br>中小・小規模企業の円滑な資金調達や自社の強みとなる付加価値の向上等を支援<br>・ 個店活性化推進事業 (10百万円) P.84<br>・ 札幌型ものづくり開発支援 (32百万円) (新製品・新技術開発支援事業(P.84)の内数)<br>・ 中小企業金融対策資金貸付 (80,780百万円) P.85<br>・ 大谷地流通業務団地高度化検討事業 (23百万円) P.85<br>・ スtock活用型商い創出事業 (11百万円) P.84<br>・ 外食産業海外展開支援事業 (17百万円) P.85 |
|       | <b>新たな企業の創出</b><br>企業誘致や資金調達の支援等により、市内に立地する新たな企業の創出を促進<br>・ 企業立地促進 (1,500百万円) P.39<br>・ 中小企業融資信用保証料補給 (30百万円) P.84   |
|       | <b>人材への支援</b><br>市内企業の担い手不足の解消に向け、若年層や女性、高齢者等、様々な世代の就労を支援<br>・ 小売業等人材確保支援事業 (6百万円) P.47<br>・ 就業サポートセンター等事業 (171百万円) P.48<br>・ (公社)札幌市シルバー人材センター運営費補助 (34百万円) P.49<br>・ テレワーク普及促進事業 (3百万円) P.84<br>・ 子育てママ再就職支援事業 (21百万円) P.86<br>・ 東京圏新卒者等UIJターン就職支援事業 (42百万円) P.86              |

## アクションプラン 政策分野3 低炭素社会・エネルギー転換

環境負荷を低減した持続可能なまちの構築

### 取組内容

- 地域交流拠点等に賑わいや交流を創出する空間の整備を支援(P. 51)
- ☆○次世代自動車の購入や燃料電池自動車向け水素ステーションの設置を支援(P. 53)
  - ・都心における自立分散型エネルギーネットワークの構築を支援(P. 55)

## アクションプラン 政策分野4 戦略を支える都市空間

世界都市としての魅力と活力にあふれるまちづくりを推進

### 取組内容

- ☆○創世交流拠点において、大通東1街区の再開発の事業化に向けた検討を支援(P. 57)
  - ・都心部及びその周辺において土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、民間再開発事業を推進(P. 58)
  - ・平成30年度の供用開始に向けて、札幌市民交流プラザを整備(P. 59)
  - ・民間再開発事業に合わせて、老朽化した中央体育館を移転建替え(P. 60)
- ☆○誰もが利用しやすいユニバーサルデザインタクシー※の導入を促進(P. 62)
- ☆○路面電車のレールの改良及び低床車両を製造(P. 63)

※ ユニバーサルデザインタクシー：足腰の弱い高齢者、車いす使用者、妊娠中の女性、子どもなども含め誰もが利用しやすい、みんなにやさしいタクシーのこと。

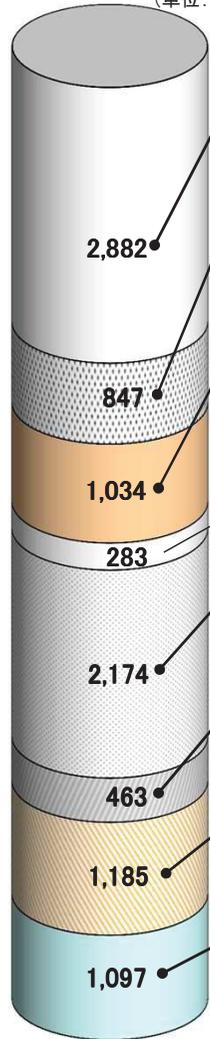
# 一般会計予算の概要

総額 **9,965** 億円

対前年度 +600億円(+6.4%)

歳入

(単位:億円)



**市税** 対前年度 +36億円(+1.3%)  
個人市民税や固定資産税の増等により、前年度予算から1.3%の増となりました。

**地方譲与税・地方特例交付金等** 対前年度 +290億円(+52.1%)  
県費負担教職員の権限移譲の影響による所得割臨時交付金の皆増等により、前年度予算から52.1%の増となりました。

**地方交付税** 対前年度 +188億円(+22.2%)  
交付税の振替措置である臨時財政対策債との合計では、1,634億円となり、前年度予算から20.9%の増となりました。

| 広義の地方交付税 | 28年度  | 29年度  | 増減額 | 増減率   |
|----------|-------|-------|-----|-------|
| 地方交付税    | 846   | 1,034 | 188 | 22.2% |
| 臨時財政対策債  | 505   | 600   | 95  | 18.8% |
| 合計       | 1,351 | 1,634 | 283 | 20.9% |

**国庫支出金** 対前年度 +116億円(+5.6%)  
県費負担教職員の権限移譲の影響による国庫負担金や、障がい福祉扶助費の増等により、前年度予算から5.6%の増となりました。

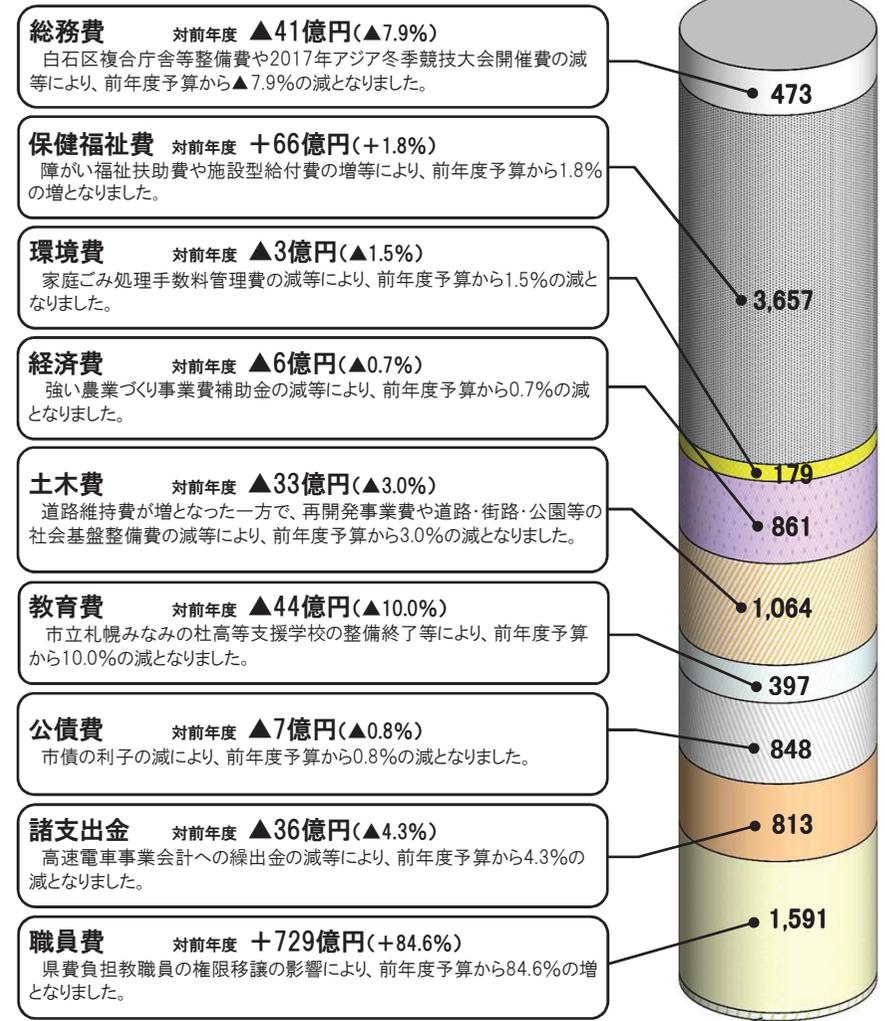
**道支出金** 対前年度 +13億円(+2.8%)  
障がい福祉扶助費や施設型給付費の増等により、前年度予算から2.8%の増となりました。

**市債** 対前年度 +2億円(+0.2%)  
建設債が減少するものの、臨時財政対策債の増等により、ほぼ前年度と同額となりました。

**諸収入等** 対前年度 ▲33億円(▲2.9%)  
土地開発基金繰入金の減等により、前年度予算から2.9%の減となりました。

歳出

(単位:億円)



**総務費** 対前年度 ▲41億円(▲7.9%)  
白石区複合庁舎等整備費や2017年アジア冬季競技大会開催費の減等により、前年度予算から▲7.9%の減となりました。

**保健福祉費** 対前年度 +66億円(+1.8%)  
障がい福祉扶助費や施設型給付費の増等により、前年度予算から1.8%の増となりました。

**環境費** 対前年度 ▲3億円(▲1.5%)  
家庭ごみ処理手数料管理費の減等により、前年度予算から1.5%の減となりました。

**経済費** 対前年度 ▲6億円(▲0.7%)  
強い農業づくり事業費補助金の減等により、前年度予算から0.7%の減となりました。

**土木費** 対前年度 ▲33億円(▲3.0%)  
道路維持費が増となった一方で、再開発事業費や道路・街路・公園等の社会基盤整備費の減等により、前年度予算から3.0%の減となりました。

**教育費** 対前年度 ▲44億円(▲10.0%)  
市立札幌みなみの杜高等支援学校の整備終了等により、前年度予算から10.0%の減となりました。

**公債費** 対前年度 ▲7億円(▲0.8%)  
市債の利子の減により、前年度予算から0.8%の減となりました。

**諸支出金** 対前年度 ▲36億円(▲4.3%)  
高速電車事業会計への繰出金の減等により、前年度予算から4.3%の減となりました。

**職員費** 対前年度 +729億円(+84.6%)  
県費負担教職員の権限移譲の影響により、前年度予算から84.6%の増となりました。

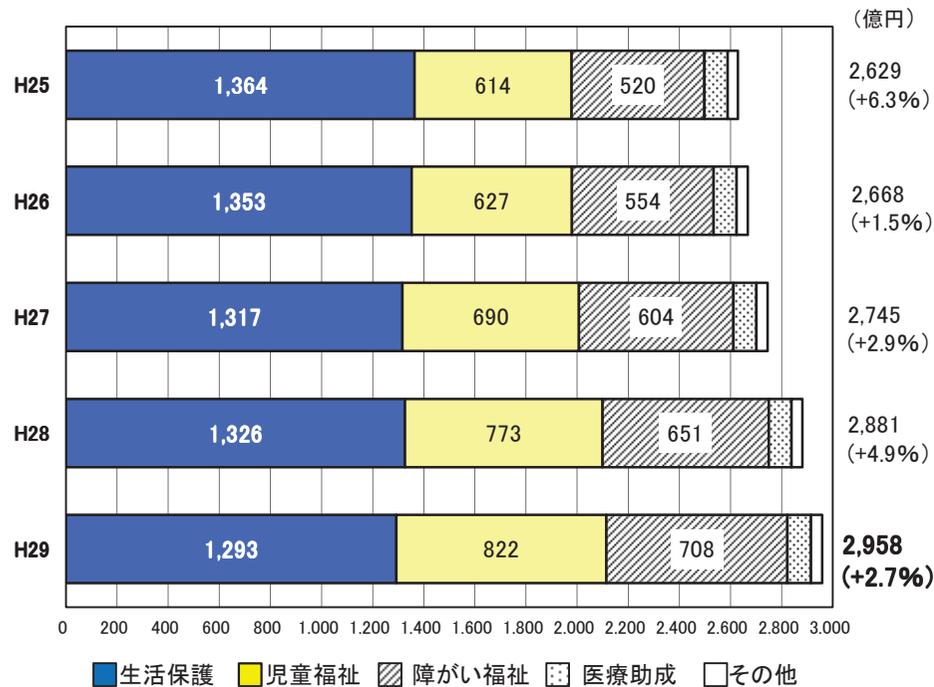
その他 82億円

# 扶助費・建設費の推移

## 扶助費

### ○扶助費は引き続き増加傾向

- ・ 児童福祉費の増 (対前年度比+6.3%)  
保育定員の増加や保育人材の処遇改善による増等
- ・ 障がい福祉費の増 (対前年度比+8.8%)  
就労支援や介護給付、障がい児通所サービスの利用の増等
- ・ 生活保護費の減 (対前年度比▲2.5%)  
保護人員の減による生活扶助費の減等

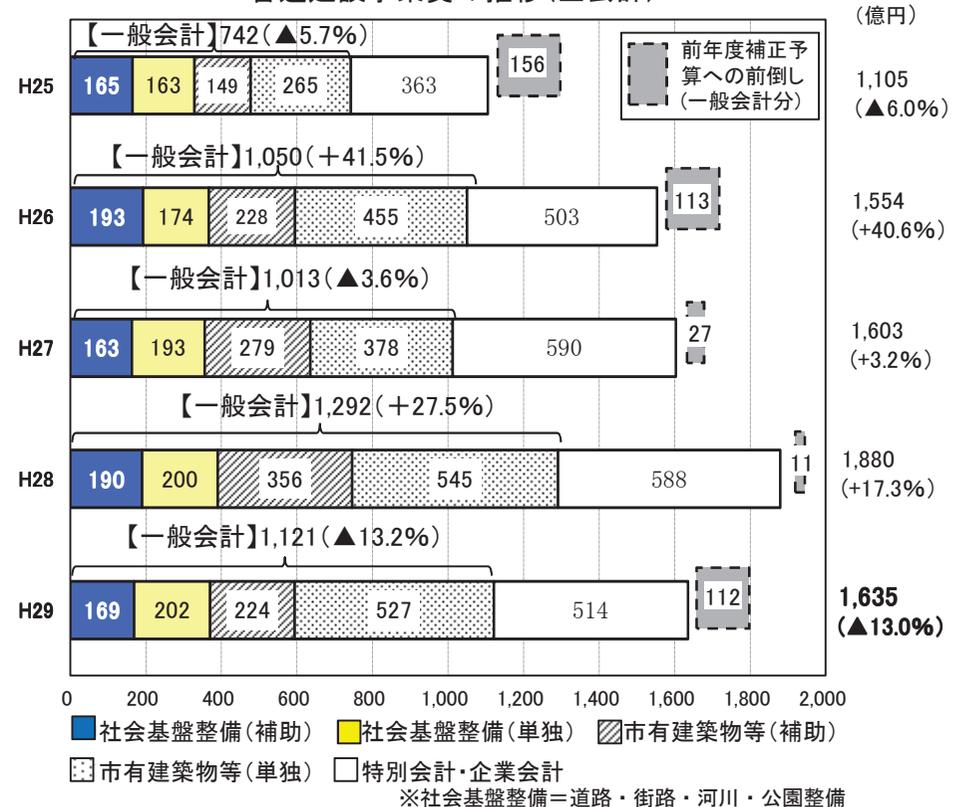


## 建設費

### ○一般会計の建設費は1,121億円を計上

- ・ 一般会計の建設費は、市民交流プラザや中央体育館の整備など、1,000億円以上の事業費を確保
- ・ 特別会計・企業会計を含めた全会計の建設費は1,635億円を計上

普通建設事業費の推移(全会計)



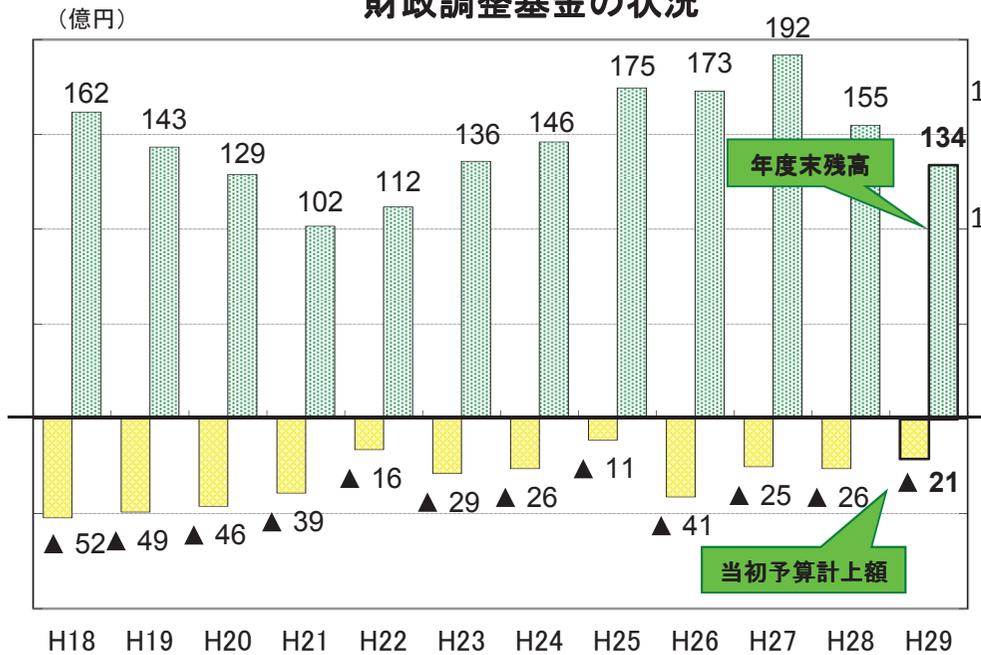
# 財政調整基金・市債の状況

## 財政調整基金

### ○財政調整基金を21億円取崩し

- ・アクションプランの計画事業を着実に実施するほか、計画外の取組も予算計上するため、財政調整基金を取崩し、一般会計へ21億円を繰入れ
- ・平成29年度末残高見込みは134億円

財政調整基金の状況

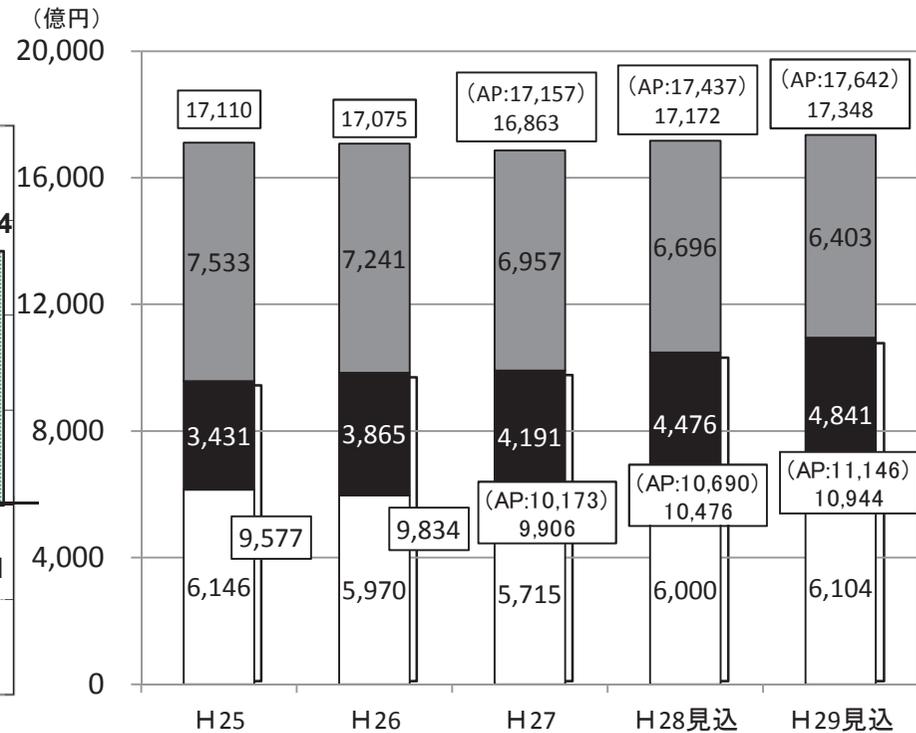


※27年度までの年度末残高は決算額、28年度末残高は決算見込み額

## 市債

### ○市債残高はアクションプラン(AP)見込額を下回る

平成29年度の市債残高は増加が見込まれるが、計画事業を着実に実施しながらもアクションプラン見込額を下回っており、将来に過度な負担を残さないよう財政規律にも配慮



□一般会計・建設債等 ■一般会計・臨財債等 ▨特別会計・企業会計